

# 【体育科・5年・「ボール運動・ゴール型（バスケットボール）」①】

## 育成を目指す資質・能力

チームでICT端末を活用し、チームの動きを確認しながら伝え合う活動を通して、スペースを見つけてパスをつなぐ動きを向上させることができる。

## ICT活用のポイント

パスをつなぐ動きを向上させるために、動画で検証する場面の学習において、チームでICT端末を活用し、一人一人の動きを共有しながら、チームの動き方や課題を把握しながら、どのように動けば良いのかを考え、話し合うことができる。

### 【本時のめあてをつかむ】

前時までの学習や課題を振り返り、児童とともにめあてを設定する。

スペース(相手がいない場所)を見つけて進んで動き、たくさんパスをつなげよう。

### 【活動①（動画の撮影と視聴）】

前時の作戦の確認を行い、知識や技能を習得する活動を行う。

### 【活動②（作戦ボードによる画面操作）】

作戦ボードで動き方等を画面上で操作し、スペースを視覚化してパスをつなぐ動きを向上させる。

### 【学習したことを振り返る】

めあてが達成できたかをジャムボードを使って共有し、全体で振り返る。

## 事例の概要

- 単元の課題を振り返り、ICT端末（動画）で動きを確認し、どのように動くの良いのかを視覚的にイメージできるようにする。
- ICT端末（ジャムボード）を活用して、動き方を画面上で操作したり、スペースを視覚化して考えさせることで、チームでパスをつなげることができるようにする。

## 事例におけるICT活用場面①

- 撮影した動画を踏まえながらチームで練習を行い、その様子をICT端末で振り返ることで、チームでパスをつなぐために、一人一人がどのように動けばよいのかを考え、共有する。

## 事例におけるICT活用場面②

- チームでICT端末を利用し、チームでパスをつなぐための動き方等を画面上で操作したり、スペースを視覚化したりしながら、チームで話し合っパスをつなぐ動きを向上させていく。

# 【体育科・5年・「ボール運動・ゴール型（バスケットボール）」②】

## 【事例におけるICT活用の場面①】



- めあてをつかむ過程では、これまでの学習を振り返りながらめあてを設定し、その後の追究する過程において、チームでICT端末を活用して練習の様子を動画で視聴しながら確認した。
- スペースに人が入り、守備の死角からはずれることができれば、パスをつなげることができるので、自分の位置を確認し、守備の状況に応じてどのように動けばよいのかをICT端末を活用してチームの仲間と確認することができた。
- チームで活動したことにより、動き方がよくわからない仲間にもICT端末を活用して動き方を伝える姿が見られた。

これまでの学習を振り返り、本時のめあてを設定した後、チームでICT端末を活用して練習動画で動きを確認している。

## 【事例におけるICT活用の場面②】



- 追究する過程において、練習で撮影した動画をもとに、その様子をICT端末で検証することで、チームの課題を把握し、チームでパスをつなぐ動きを考えることができた。
- 共同編集機能を利用し、画面上のコート図を共有しながら操作したり、一人一人の意見を共有したりしながら、チームの意見を全体で出し合ったことで、個人としての動き方を決めることができた。
- ICT端末の活用により、チームや一人一人の動きを共有することができ、全員が生き生きと練習に参加して楽しむことができた。

ICT端末の機能を活用して、どのように動けば良いのかスペースや仲間の位置を考え、話し合っている。

【活用したソフトや機能】

動画撮影、学習支援ソフト、共同編集機能